

産学連携による実践型人材育成事業 ー長期インターンシップ・プログラム開発ー
最終評価結果

大 学 名	帝塚山大学
プロジェクト名称	マルチプレイ型コンテンツ知財専門人材育成
事業責任者	法学部教授・大学院法政策研究科長・ 高度人材インターンシップ推進室長 中川 幾郎

事業概要

本事業は、コンテンツ分野(映画、放送、音楽、漫画、アニメ、キャラクター、モバイルコンテンツ、ゲームソフトなど)において、その開発から活用・管理までの総プロセスに対応できる法律・経営・政策に強い「マルチプレイ型コンテンツ知財専門人材育成」を目的とし、関西圏企業との産学連携により、企業の知財ニーズに応える派遣型の国際的・学際的な人材供給システムを構築する新しいインターンシップモデルを提供した取組である。

【カリキュラム体系】



【マルチプレイ型実践型知財専門人材養成図】



詳細については、<http://ait-web.net/index.html> を参照。

最終評価結果

(総合評価) A : 所期の計画と同等の取組が行われた

コメント

《優れた点》

- ・ アジアを中心に今後の国際的な発展が期待される分野であるコンテンツ分野に着眼し、法・経営・政策の複数領域にまたがる体系的なカリキュラムを構築するとともに、ユニークかつ実務的なインターンシップマニュアルも作成している点は、先進的であり評価できる。
- ・ 事業の中間評価、当事者(学生・企業・教員)の評価及び外部評価等で受けた指摘に適切に対応したことで、派遣先企業や受入学生の数・分野も増加し、実績を挙げてきている点が優れている。
- ・ 中間評価以後、マネジメント体制が整備され海外連携も含め大幅な進展に繋がった点を評価したい。
- ・ 本事業に参加した学生が、コンテンツ分野の企業等に多く就職していることが評価できる。

《今後に期待する点》

- ・ 海外展開において、現在はアジアの国々を中心としてグローバル化に対応可能な人材の養成を図っているが、将来は欧米への展開も意識したカリキュラムの工夫、ネットワーク作りを進めることが望ましい。
- ・ ユニークな人材育成プログラムを継続できるよう、マネジメント体制の整備やプログラム運営者の育成に、引き続き取り組んで欲しい。
- ・ コンテンツ分野についての教育効果が第三者から見えるような評価法を工夫していくことが期待される。